



市民病院 ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

看護フェスティバルを開催しました

毎年5月12日は看護の日です。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、広く国民が分かち合うことが必要で、こうした心を老若男女問わず、誰もが育むきっかけになるように、国は1990年にフローレンス・ナイチンゲールの誕生日の5月12日を「看護の日」に制定しました。

市民病院でも「看護週間」にちなみ、5月14日(水)に看護フェスティバルを開催しました。今年のテーマは「届けよう看護の心～ひとりひとりが健康であるために」としました。市民の皆さんが健康について考える機会となるように、骨密度測定、理学療法士によるロコモチェック、認知症認定看護師による物忘れチェックなどを行いました。



△看護フェスティバルの様子

135人もの皆さんに参加してもらい、催事プロジェクトメンバー一同、とても嬉しく思っています。

次回の看護フェスティバルは9月10日(水)です。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています。

碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

NO.2 碧南市には 海水浴場がいっぱい

近隣の海水浴場では海開きも近づいてきましたが、さて「沖見平・松江・新明石・鶴ヶ崎遊園・新須磨・新浜寺・玉津浦…」とは何でしょう。

答えは、碧南市にあった海水浴場です。今も残る防潮堤の西側、そう、産業道路、工業地帯は遠浅の海でした。海水浴・魚釣り・潮干狩りなど多くの観光客で賑わっていました。

7世紀後半のころには、この地方は青海郡あおみぐんと呼ばれ、美しい海に囲まれていました。今の碧南市からその光景を思い浮かべることは難しいですね。

8世紀なかごろに作成された『続日本紀』では「参河の国碧海郡あおみぐん」となっていて、「へきかいぐん」という呼び方はもっとあとになってからのようです。



△玉津浦海水浴場



△新浜寺海水浴場にあった高級旅館「海月」